

| | | | |
|---|--------------------------|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名 (Course Code / Course Title) | EX676／演習 (Seminar) | | |
| テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle) | 明治から令和まで——福澤諭吉を通じた日本社会分析 | | |
| 担当者名 (Instructor) | 菅原 光(SUGAWARA HIKARU) | | |
| 学期 (Semester) | 秋学期(Fall Semester) | 単位 (Credit) | 2単位(2 Credits) |
| 科目ナンバリング (Course Number) | LPX4910 | 言語 (Language) | 日本語 (Japanese) |
| 備考 (Notes) | その他登録 | | |

授業の目標 (Course Objectives)

西洋由来の社会科学を学ぶだけでは理解し得ない日本社会の実態を、明治時代の文化や社会にまで遡って検討することを通じ、現代日本社会の特徴を理解することを目指します。この作業を通じ、皆さんは、テキストを正確に読解し、発表し、議論する技術をも習得することになります。

The objectives of this seminar are to read and discuss about the fundamental texts about culture in the Edo period. In this works, we also consider contemporary Japan. Through this works, students will learn techniques such as reporting, presenting and discussing based on a careful review of the textbook.

授業の内容 (Course Contents)

近代化と西洋化とが同義だった日本の宿命として、法学・政治学などの社会科学は基本的に西洋(由来)の法学・政治学であり続けていますが、法が適用され政治が営まれる現実の日本社会は、江戸時代以来の伝統や歴史的経緯の中に位置付けられる存在です。そのため、制度の建前と社会の現実との間には、常に齟齬が生じざるを得ません。それに由来して、「日本人には社会科学が真には理解し難い」とか、「舶来のものに過ぎない学問などは現実の(日本)社会では役に立たない」などと言われることもあります。それは時に、「民主主義」とか「討論を通じた合意形成」などは、西洋のものであり、日本(人)には合わないのではないかといった議論につながることもあります。実際には、どうなのでしょう？本ゼミでは、西洋由来の社会科学を学ぶだけでは理解し得ない日本社会の実態を、江戸時代の社会や思想にまで遡って検討したいと思います。江戸時代から明治時代の思想に関連するテキストを講読し議論する春学期のゼミナールとは異なり、現代をも含めた日本社会の特徴に迫りたいというのが秋学期のゼミナールのテーマです。扱うテキストは、丸山真男という戦後日本を代表する日本政治思想史研究者・政治学者(春学期に扱うテキストの著者の指導教員でもあります)による福澤諭吉研究です。江戸、明治、大正、昭和……という歴史的な流れの中で、現代日本を理解し、議論していくことが目標です。

Because modernization and westernization were synonymous with Japan's destiny, social sciences such as Law and Political Science fundamentally continue to be Western (origin) Law and Political Science, but the actual Japanese society where law is applied and politics operate is positioned within the pre-westernized traditions and historical background. Therefore, discrepancies between the stated reasons of the system and the realities of society are unavoidable. Because of this, it is said that, "it is difficult for Japanese people to truly understand the social sciences" and "academic disciplines which are merely imported are useless in the real society (in Japan)." This sometimes leads to arguments that "democracy" and consensus building through discussion are Western constructs that do not suit Japan (or Japanese people). So, what is the actual truth? This seminar will examine the actual state of Japanese society, by reading Masao Maruyama who is the most influential political philosopher.

授業計画 (Course Schedule)

1. 演習についてのガイダンスと履修者の自己紹介
2. 課題テキスト講読と討論
3. 課題テキスト講読と討論
4. 課題テキスト講読と討論
5. 課題テキスト講読と討論
6. 課題テキスト講読と討論
7. 課題テキスト講読と討論
8. 課題テキスト講読と討論
9. 課題テキスト講読と討論
10. 課題テキスト講読と討論
11. 課題テキスト講読と討論
12. 課題テキスト講読と討論
13. 課題テキスト講読と討論
14. 総合討論

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

その週の発表担当者以外の履修者には、予習課題として、その週の課題テキストの該当範囲を読んだ上で、感想、意見、疑問点などから構成されるコメントカード(400字程度)を作成してもらいます。

成績評価方法・基準(Evaluation)

予習(30%) / プレゼンテーション(30%) / 授業中の討論(40%)

丸山眞男や福澤諭吉という思想家や日本の歴史や思想などに興味のある学生はもちろんですが、現代社会にこそ関心があるという学生の履修も歓迎します。

テキスト(Textbooks)

1. 丸山眞男、2001年、『福沢諭吉の哲学』、岩波文庫 (ISBN:4-00-381041-4)

履修学生の有する日本思想史に関する基礎的な教養と、関心の方向性次第で、テキストを変更する可能性があります。その他、絶版テキストや史料などは授業時にコピーを配付します。

参考文献(Readings)

1. 松沢弘陽、2020年、『福沢諭吉の思想的格闘——生と死を超えて』、岩波書店 (ISBN:978-4-00-061435-1)

2. 平石直昭、2021年、『福澤諭吉と丸山眞男——近現代日本の思想的原点』、北海道大学出版会 (ISBN:978-4832968769)

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

<選考方法>

採用人数:15人程度

配当年次:2年次以上

選考方法:レポート

① 題目:自己紹介含みで本演習を志望する理由を記してください

② 字数:1000~1200字程度

演習論文:なし

注意事項(Notice)